

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大和田小	学校	児童数	52
------	----	-----	----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.09	17.91	33.00	36.30	48.09	9.03	161.52	26.09	53.91
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	17.38	15.00	40.45	32.21	30.86	9.46	142.48	13.32	51.64
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

男子は、握力、シャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの5種目で全国平均を上回っており、合計点でも全国平均を上回っている。女子は、握力、長座体前屈、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの5種目で全国平均を上回ったものの体力合計点では、下回る結果となった。男女ともに、上体起こしと反復横とびに課題が見られる。

質問「運動やスポーツをすることは好きですか」は、女子は肯定的な回答が85.7%と全国平均並みであり、男子は全員が肯定的な回答であった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は13%と全国平均より高いものの週420分を超えて継続的に運動する児童も60%と高く2極化している。一方、女子は、28.6%と高く、全体的に運動する習慣がない児童が多数を占める結果が見られる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

敏捷性や瞬発力の向上を目指し、準備運動や授業の導入部分にラダー運動を取り入れて継続的に取り組んできた。ラダーを用いた運動は、楽しみながら取り組むことができるため、児童の意欲も高まり、素早く動く感覚やリズムよく体を動かす力が徐々に身に付いてきた。

その結果、運動に対して前向きに取り組む児童が増え、活動中の動きも軽快になるなど、敏捷性の向上が見られた。また、準備運動やストレッチにも意識的に取り組む姿が見られるようになり、体の柔軟性への関心も高まってきた。

今後の課題としては、引き続き俊敏性を高める運動に取り組むとともに、柔軟性を身につけるため、準備運動として柔軟運動やストレッチなど体ほぐし運動を重点的に取り入れていく。また、運動の機会を増やすため、保護者へも呼びかけながら日常的に体を動かす習慣が身につくよう様々な取り組みを進めていきたい。